

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

保護命令申立書

(受付印)	(収入印紙貼付欄) 1,000円	
	(消印しない)	
	収入印紙 円	裁判所確認印
(配子) 第 号	予納郵券 円	

山口地方裁判所 支部 御 中

平成 年 月 日

申立人 _____ 印

添付書類 (□ 内にレを付したものを。)

申立書写し 1通

戸籍謄本 住民票の写し

* 戸籍謄本及び住民票の写しは、原本を提出

子・親族等の署名を確認する書類 1通

* 証拠書類として子・親族等の同意書を提出する場合のみ

証拠書類写し 各2通

写真 診断書

陳述書

子 (子が15歳以上の場合) ・親族等の同意書 1通, 同写し 1通

～証拠書類のコピーを相手方に送付しますから、枠内は正確に書いて下さい～

当事者の表示

別紙当事者目録記載のとおり

申立ての趣旨

【ただし、□内にレを付したもの】

□ 申立人と相手方が同居している場合

(退去命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して2か月間、別紙住居目録記載の住居から退去せよ。

相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して2か月間、前記記載の住居の付近をはいかいしてはならない。

(申立人への接近禁止命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙住居目録記載の住居以外の場所において申立人の身辺につきまとい、又は同住居以外の申立人の勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

(子への接近禁止命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙住居目録記載の住居以外の場所において、別紙未成年者目録記載の申立人の子の身辺につきまとい、又は同住居以外の同人の就学する学校その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

□ 申立人と相手方が別居している場合

(申立人への接近禁止命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、申立人の住居その他の場所において申立人の身辺につきまとい、又は申立人の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

(子への接近禁止命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙未成年者目録記載の申立人の子の身辺につきまとい、又は同人の住居、就学する学校その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

□ **相手方と親族等が同居している場合**

(申立人の親族等への接近禁止命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙住居目録記載の住居以外の場所において、別紙申立人の親族等目録記載の親族等の身边につきまとい、又は同住居以外の当該親族等の勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

□ **相手方と親族等が別居している場合**

(申立人の親族等への接近禁止命令)

- 相手方は、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、別紙申立人の親族等目録記載の親族等の住居その他の場所において同人の身边につきまとい、又は当該親族等の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

申立人への電話等禁止命令

- 相手方は、申立人に対して、本決定の告知を受けた日から起算して6か月間、次に掲げるいずれの行為もしてはならない。

- 1 面会を要求すること。
- 2 その行動を監視していると思わせるような事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 3 著しく粗野又は乱暴な言動をすること。
- 4 電話をかけて何も告げず、又は緊急やむを得ない場合を除き、連続して、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、若しくは電子メールを送信すること。
- 5 緊急やむを得ない場合を除き、午後10時から午前6時までの間に、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、又は電子メールを送信すること。
- 6 汚物、動物の死体その他の著しく不快又は嫌悪の情を催させるような物を送付し、又はその知り得る状態に置くこと。
- 7 その名誉を害する事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 8 その性的羞恥心を害する事項を告げ、若しくはその知り得る状態に置き、又はその性的羞恥心を害する文書、図画その他の物を送付し、若しくはその知り得る状態に置くこと。

申立費用は、相手方の負担とする。
との裁判を求める。

申立ての理由

1 私と相手方との関係

(1) 相手方と同居を始めた時期は、昭和・平成 年 月 日 ころです。

(2) 私と相手方は、現在、同居（生活の本拠を共に）しています。

ただし、平成 年 月 日から一時的に避難しています。

平成 年 月 日から別居（生活の本拠を別に）しています。

(3) 【申立人と相手方との関係が婚姻関係または事実婚関係の場合】

私と相手方は、平成 年 月 日婚姻届を提出した夫婦です。

私は平成 年 月 日相手方と離婚しました（事実婚の関係は、 続いていません。 続いています。 平成 年 月 日解消しました。）。

私と相手方とは婚姻届を提出していませんが、平成 年 月 日から夫婦として生活しています（事実婚と認められないとしても、生活の本拠を共にする交際関係です。）。

(4) 【申立人と相手方との関係が生活の本拠を共にする交際関係の場合】

私と相手方は、平成 年 月 日から交際関係にあります。

私と相手方は、平成 年 月 日に交際関係を解消しました。

相手方と共にする（共にしていた）生活の本拠は、次の場所です。

当事者目録記載の申立人住所地

当事者目録記載の相手方住所地

.....

私と相手方の共同生活は、婚姻関係における共同生活に類似するもので、その事情は次のとおり。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

(5) 私と相手方との間には、

子供はいません。

子供がいます。氏名及び年齢は次のとおりです。

(ふりがな) 子供の氏名	性別	年齢 (学年)	子供の同居者 (○で囲む)
()	男・女	歳 ()	申立人・相手方・その他
()	男・女	歳 ()	申立人・相手方・その他
()	男・女	歳 ()	申立人・相手方・その他
()	男・女	歳 ()	申立人・相手方・その他
()	男・女	歳 ()	申立人・相手方・その他
()	男・女	歳 ()	申立人・相手方・その他

(6) 申立人の職業は、無職 自営 勤め アルバイト・パート です。

(7) 相手方の職業は、無職 です。

自営 勤め アルバイト・パート で、

業 種は.....職場又は会社名は..... です。

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

2 相手方からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けた状況

(1) 相手方からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫が始まった時期は
 昭和 平成 年 月 ころです。

(2) 最後に相手方からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫があったのは
平成 年 月 日 ころです。

(3) 相手方から受けた主な身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫の状況は、次のとおりです。

なお、最も重かった身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫は 番です（○の中に番号を書いてください。）。

① **時期** 昭和 平成 年 月 日 ころ

場所 自宅 自宅以外（ _____ ）

暴力又は脅迫の内容

相手方から、 _____
といった原因・きっかけから

といった（暴力・脅迫）を受けました。

暴力によるけがの状況

この暴力によって、私は、 _____

といったけがを負い、完治するまで _____ 日間くらいかかりました。

なお、このけがの状況を撮影した写真を提出します。

医師の治療は

受けませんでした。

治療のために、 入院 _____ 日間、 通院 _____ 日間が必要でした。

なお、この治療の内容を記載した診断書を提出します。

② **時期** 昭和 平成 年 月 日ころ
場所 自宅 自宅以外 (_____)

暴力又は脅迫の内容

相手方から、 _____
といった原因・きっかけから

といった（暴力・脅迫）を受けました。

暴力によるけがの状況

この暴力によって、私は、 _____

といったけがを負い、完治するまで _____ 日間くらいかかりました。

なお、このけがの状況を撮影した写真を提出します。

医師の治療は

受けませんでした。

治療のために、 入院 _____ 日間、 通院 _____ 日間が必要でした。

なお、この治療の内容を記載した診断書を提出します。

③ **時期** 昭和 平成 年 月 日ころ
場所 自宅 自宅以外 (_____)

暴力又は脅迫の内容

相手方から、 _____
といった原因・きっかけから

といった（暴力・脅迫）を受けました。

暴力によるけがの状況

この暴力によって、私は、 _____

といったけがを負い、完治するまで _____ 日間くらいかかりました。

なお、このけがの状況を撮影した写真を提出します。

医師の治療は

受けませんでした。

治療のために、 入院 _____ 日間、 通院 _____ 日間が必要でした。

なお、この治療の内容を記載した診断書を提出します。

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

3 配偶者暴力相談支援センター又は警察への相談の有無など

- (1) 相手方からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫等について、配偶者暴力相談支援センター又は警察に相談したり、援助や支援を求めたことはありません。
- 宣誓供述書を提出します。
- (2) 次のとおり、相手方からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫等について、配偶者暴力相談支援センター又は警察に相談したり、援助や支援を求めたことがあります。

① 平成 年 月 日ころ

- (ア) 警察（ 警察署・派出所）
- 山口県男女共同参画相談センター
- その他の配偶者暴力相談支援センター（ ）
- (イ) 相談内容 相手方から受けた暴力、生命・身体に対する脅迫
- 今後、暴力を受けるおそれがあること
- 子への接近禁止命令を求める事情
- 親族等への接近禁止命令を求める事情
-
- (ウ) 措置の内容 一時保護
- 保護命令制度についての情報提供
- を受けました。

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

② 平成 年 月 日ころ

- (ア) 警察 (警察署・派出所)
 山口県男女共同参画相談センター
 その他の配偶者暴力相談支援センター ()
- (イ) 相談内容 相手方から受けた暴力, 生命・身体に対する脅迫
 今後, 暴力を受けるおそれがあること
 子への接近禁止命令を求める事情
 親族等への接近禁止命令を求める事情
- (ウ) 措置の内容 一時保護
 保護命令制度についての情報提供
 を受けました。

③ 平成 年 月 日ころ

- (ア) 警察 (警察署・派出所)
 山口県男女共同参画相談センター
 その他の配偶者暴力相談支援センター ()
- (イ) 相談内容 相手方から受けた暴力, 生命・身体に対する脅迫
 今後, 暴力を受けるおそれがあること
 子への接近禁止命令を求める事情
 親族等への接近禁止命令を求める事情
- (ウ) 措置の内容 一時保護
 保護命令制度についての情報提供
 を受けました。

4 保護命令の必要性

私は、次のような理由から、相手方が私に対し、さらに身体に対する暴力を振るい、私の生命、身体に重大な危害を加えるおそれが大いと考えています。

この欄には、最近も、相手方が直接又は電話などで、申立人を殴るとか殺す等と言うとか、相手方が申立人の実家、友人、配偶者暴力相談支援センター等に電話をかけたたりして、申立人に対し暴力を振るうかのような言動をしたり、申立人の居所を聞き出そうとしたりしているとか、相手方が申立人の住居を訪ねてきて、無断で入り込もうとしたり、周囲をうろついているといった事情を具体的に記載してください。

5 子への接近禁止を申し立てる理由

(1) 今回、子への接近禁止の申立てを、

していない。

している。

(2) 以下は、上記(1)で「している。」に記入した場合のみ回答してください。

今後、私が「未成年者目録」記載の子に関して、相手方と面会などをせざるをえなくなると考える理由は、次のとおりです。

この欄には、相手方が子の通学先、通園先等を探索していたり、その通学先、通園先等に赴いて子の引渡しを要求する言動を行っているといった事情を具体的に記載してください。

6 親族等への接近禁止を申し立てる理由

(1) 今回、親族等への接近禁止の申立てを、

していない。

している。

(2) 以下は、上記(1)で「している。」に記入した場合のみ回答してください。

今後、私が「申立人の親族等目録」記載の親族等に関して、相手方と面会などをせざるをえなくなると考える理由は、次のとおりです。

この欄には、相手方が、親族やあなたに対して継続的な保護・支援を行っている職場の上司、配偶者暴力相談支援センターの職員等の住居に押し掛けて、大きな声で叫び続けるなどの方法で申立人の居場所を聞き出そうとしたりしているといった事情を具体的に記載してください。

申立人の親族等目録記載(氏名).....について

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

申立人の親族等目録記載（氏名）.....について

申立人の親族等目録記載（氏名）.....について

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

(別 紙)

当 事 者 目 録

申立人

〒 _____

住 所 _____

ふりがな _____

氏 名 _____

生年月日 大正・昭和・平成_____年_____月_____日生 (_____歳)

相手方

〒 _____

住 所 _____

ふりがな _____

氏 名 _____

生年月日 大正・昭和・平成_____年_____月_____日生 (_____歳)

【本申立書の写しは相手方に送付しますので、そのことを前提に記載してください。】

(別 紙)

住居目録

(住 居)

(別 紙)

未成年者目録

(子への接近禁止を申し立てる場合のみ記載してください。)

ふりがな

氏 名 _____

生年月日 平成 年 月 日生 (歳)

ふりがな

氏 名 _____

生年月日 平成 年 月 日生 (歳)

ふりがな

氏 名 _____

生年月日 平成 年 月 日生 (歳)

ふりがな

氏 名 _____

生年月日 平成 年 月 日生 (歳)

※未成年者が15歳以上の場合には同意書も提出してください。

※この目録には、申立人と同居している子のみ記載してください。

(別 紙)

申立人の親族等目録

(親族等への接近禁止を申し立てる場合のみ記載してください。)

- 1 住 所 _____
ふりがな _____
氏 名 _____
申立人との関係 _____
生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生 (歳)

- 2 住 所 _____
ふりがな _____
氏 名 _____
申立人との関係 _____
生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生 (歳)

- 3 住 所 _____
ふりがな _____
氏 名 _____
申立人との関係 _____
生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生 (歳)

※ 当該親族等の同意書（親族等が15歳未満又は成年被後見人のときは、その法定代理人の同意書と法定代理人であることを証する書面（戸籍謄本等））も提出してください。

※ 当該親族等が申立人の子である場合には、生年月日を記入してください。